

【22_147技術系メルマガ】「こうなるはず」ではなく『こうなったら』で考える

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今日は昨日に引き続いて、待ち伏せる『型』を定めながらチャンスを待つときに

意識しておくの良い考え方について

昨日のメルマガに補足をする形でお送りしていこうと思います。

ちなみに、今日はじめてメルマガ登録してくれた方も多いかと思いますので

今日の話のベーステクニカルを解説している昨日のメールのバックナンバーをリンクしておきますね。

▼【22_146技術系メルマガ】いつも同じ『形』を追い求める▼

https://kuro-gaki.com/muhai_mail_2022/220526Yhr92.pdf

僕が日頃トレードする際のセットアップとして意識している『MA収縮』+『3波』の考え方

このパターンが認識できる場所でエントリーする事で、一貫したトレードによる安定した勝率と利回りを確保できます。

ですが、ここで誤解してはいけないのが

これはあくまでもこの『型』は、自分のトレードに『一貫性』を持たせるための『基準』に過ぎないということです。

つまりどういうことかという、その通りに値動きをしてくれる「はず」だと思い込んでトレードしても

実際の相場は僕らのそのような意思(願望)とは無関係に動くということを忘れてはいけないということでもあります。

タイトルにもかいた「こうなるはず」という考えでトレードしてしまうと

結果がそれを否定(損切り)してきた時に、「なぜ？こんなはずでは」という気持ちが先行しそれがポジポジ病を誘発する原因にもなりかねません。

なので、『型』に沿ってトレードするというのは

あくまでも自分が『“基準にそって”トレードを実行する』というだけの事であり

それを繰り返し試行することで、『比較的勝てる確率が高くなる』ものであると理解するのが、適切な考え方です。

なので常に自分の『基準』に沿う条件が整ったら(=『こうなったら』)勝てるかどうかまでは分からないけど

型に沿ってエントリーしていく。

そして、その試行回数が増える程、勝ったり負けたりしながら、トータルの利益はプラスになる。

その確証(信頼)を型に対して持てるようにするための、過去チャート検証であり

フォワードテストでもあると言えます。

昨日のメルマガで、僕の考えるロング・ショートの『ベストなセットアップイメージ』を共有しましたが

この形と「瓜二つ」な物を探すというわけではなく、各自でこの形を再現できる『イメージの言語化』を行い

そのイメージに重ねた時にチャートが『どんな形を作れば、自分が“コレだ”と思えるか』

この部分をしっかり固めていくように意識してみてください。